

週報 みえぎよれん

★浜に身近な話題をお届けする関係者向けミニ情報誌★

編集・発行

JF 三重漁連指導部

TEL:059-228-1205

FAX:059-225-4511

本紙は三重漁連ホームページ (<http://www.miegyoren.or.jp/>) での閲覧を推奨します (PDF ファイル)。

三重外湾・海野・尾鷲・大曾根
合併調印式開催
-7月4日(水)松阪市-

桑名地区密漁パトロール
密漁者0へ!
-6月30日(土)桑名市-



7月4日(水)、松阪市において、三重外湾漁協と海野漁協・尾鷲漁協・大曾根漁協との合併調印式が行われた。

近年の漁業者数の減少や高齢化、資源量の減少等を受け、県の組合長会議では昨年5月、漁業の維持・活性化を目的に、県内17漁協を伊勢湾地区、鳥羽磯部地区、外海地区の3漁協とする「県下漁協3ブロック構想」を決定していた。この構想に基づき、同年7月に県内6漁協で「外海地区漁協合併推進協議会」を設立。合併へ向けた調整・協議を続け、組合員の賛同を得ることが出来なかった2漁協を除き、県内最多の組合員数を持つ三重外湾漁協へ3漁協が合併する形で、新しい「三重外湾漁協」が発足することとなった。

三重外湾漁協の浅井利一組合長は、「漁業を取り巻く環境は極めて厳しい。合併を機に、地域経済や漁業者の生活が安定するように努めたい」と話した。

6月30日(土)、桑名市の漁協などで構成する桑名地区密漁防止対策協議会が、木曾川、揖斐・長良川河口の伊勢湾でハマグリなど貝類の密漁防止を図るため、関係機関と連携した合同パトロールを実施した。

同パトロールは、漁協・漁業者の長年にわたる種苗生産・放流と、厳格な資源管理の結果、近年回復の兆しをみせている「桑名産ハマグリ」をターゲットに横行している密漁行為に対し、漁業者や行政、指導・取締機関が連携して毎年実施しているもので、参加者は海上班・陸上班に分かれてパトロールを行い、密漁者に対し違法性と資源管理の重要性を訴えた。

また今年も、鳥羽商船高等専門学校の協力のもと、ドローンによる上空からの監視実験を併せて実施。ドローンで撮影された鮮明な画像を見た漁業者達は、新たな監視アイテムとして期待を寄せた。

パトロールの風景



2018 年漁業センサスに対する ご協力をお願いします！

農林水産省では、我が国水産業の生産構造、就業構造を明らかにするとともに、漁村、水産物流通・加工業等の漁業を取り巻く実態と変化を把握し、我が国の水産行政施策の推進に必要な基礎資料を整備することを目的として、平成 30 年 11 月 1 日現在（流通加工調査は平成 31 年 1 月 1 日現在）で「2018 年漁業センサス」を実施する。

漁業センサスは、昭和 24 年以降 5 年ごとに実施しているもので、水産業に関する統計調査の中で最も基本的かつ重要な調査であり、特に、2018 年漁業センサスは、新たな水産基本計画が平成 29 年 4 月に閣議決定された後に初めて実施されるため、本調査結果は同計画に基づく水産行政施策を適切に推進するための資料として重要な役割を担っており、農林水産省は漁業関係者への協力を呼び掛けている。

趣旨等ご理解の上、関係の皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

小型漁船の船舶検査について 今一度ご確認ください！

小型船舶の船舶検査は、20 t 未満であっても漁業者が海岸から 12 海里を超えて操業する場合には検査が必要であるが、昨今、船舶検査を受検しないまま 12 海里を超えて操業する小型漁船が散

見されている。

これらの状況を受け日本小型船舶検査機構（JCI）は、漁業関係者への船舶検査対象についてのチラシやパンフレットを作成し、周知徹底を求めている。



【主な予定】

○7月14日（土）

海浜清掃（津）

○7月13日（金）～14日（土）

第11回全国カキ・サミット（岡山）

○7月18日（水）

「水産政策の改革」への対応

に係る説明会（東京）

○7月21日（土）

マリンカップ（津）

本文の無断転載・転用等は固くお断りします。